



横浜市立日野南中学校

令和4年9月6日

令和4年度 ひのみだより 9月号



日野南中学校ホームページ

横浜市港南区港南台 4-37-1 TEL045(832)4726

「予測困難な時代」だからこそ

副校長 井上 祐介

今夏は新型コロナウイルス感染症の第7波や猛暑の中でしたが、部活動の大会等もおおむね順調に実施され、多くの生徒がいきいきと活躍する姿が見られました。夏休み明けは、9月の定期テストにはじまり、芸術祭という大きな行事が行われます。引き続き、感染症対策を講じながら、生徒が豊かに学べる場をつくっていききたいと思います。

さて、話は変わりますが、今の時代は「予測困難な時代」と言われ、新型コロナウイルス感染症により一層先行き不透明となっている中で、社会全体が答えのない問いにどう立ち向かうかが問われています。その方策として、目の前の事象から解決すべき課題をみだし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解や最適解を生み出すこと等が必要です。進化論で有名なチャールズ・ダーウィン(1809-1882年)は、「ヒトはどこから来てどこへ行くのか?」という問いをたて、長年の研究で「ヒトはすべての生きものと同じ祖先から来て、どこへ行くとも知れない。」という解を導きました。人類はどこに行くとも知れないということは、不安な反面、新しい価値を創造するチャンスでもあります。

学校での授業や委員会活動等を思い浮かべてください。前述したような社会に出たときに必要な力をつけるために、多くの場面で、友達と学び合いながら課題解決に向けて取り組んでいるはずです。何のために勉強しているのかを意識すると、勉強に対するモチベーションが変わってくるかもしれませんね。

最後におまけです。次の課題は中学1年生の理科で学習した知識を活用して考えることができますので、各自の納得解や最適解を導きだしてみてください。

課題:ヒトは、草食系雑食動物か?肉食系雑食動物か?

ウサギ(草食動物)、ネコ(肉食動物)の頭骨標本とヒトの頭骨標本(レプリカ)を比較して、課題についての結論とその理由を説明してください。



ウサギ



ネコ



ヒト

【交通安全教室】

7月20日(水)、一般財団法人 横浜市交通安全協会の方にお越しいただき、交通安全教室を実施しました。感染症防止のため、放送室より各教室へのテレビ放送での実施となりましたが、長期休業が始まる前に、安全な横断歩行や自転車の乗り方について学習することで、生徒の交通安全に対する意識を高めることができました。



【横浜子ども会議】

8月30日(火)、港南区横浜子ども会議が開催されました。日野南中・日野小・日野南小・小坪小の代表者で、「『だれにとっても』居心地のよい学校づくり」をテーマに話し合いました。日野南中ブロックとして、「相手の立場で考えよう」「チャイム着席等の時間を守ろう」という具体的取組が決まりました。



【この夏、各部活動がんばりました!!】

野球部 横浜市総合体育大会野球の部 ベスト16(2年連続決勝トーナメント進出)

サッカー部 サッカーで必要な「止める・蹴る・走る」のレベルアップのため、チームで声をかけ合いながら練習しました。

陸上競技部 港南区民大会に出場し各種目健闘しました。港南区大会出場 男女総合第6位。

ソフトテニス部 男子 港南・栄地区1年生大会 3位入賞

【中谷光志・犬飼瑚那ペア】【宮岡佑輔・桐生真之介ペア】

バスケットボール部(男子) 横浜ブロック大会2回戦進出

バスケットボール部(女子) 横浜ブロック大会準優勝、県大会出場。

バドミントン部(男子) 団体戦で市大会2回戦敗退。

個人戦シングルスで市大会に参加。【3年 幸谷翔太郎】

バドミントン部(女子) 団体戦で市大会に参加し、最後までベストを尽くしました。

バレーボール部(女子) 市大会2回戦進出。最後の大会では、市の強豪校の強烈なスパイクを魂で上げ続けました。地道に努力を重ねてきた成果を発揮しチーム全員で闘いきりました!

吹奏楽部 第23回 横浜吹奏楽コンクール 銀賞受賞

美術部 横浜市中学校美術部展参加。横浜そごう美術館へ見学に行きました。

茶道部 7月21日、25日に港南台コミュニティーセンターでお稽古を行いました。

水屋を使ってのお稽古は初めてだったので、大変有意義な経験となりました。

合唱部 現在、自分達で選曲したものを練習しています。

秋の芸術祭に向けて、それぞれが個人のレベルをあげようと頑張っています。

理工部 夏までの制作及び実験…本棚、ドライフラワー、麻ボール、石鹼づくり、プログラミング、噴出実験

環境園芸部 職員室前花壇の草取りをしました。体育館前の花壇の整地をしました。

これから花の種を植える予定です。



【よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト】

『国際平和のために、自分がやりたいこと』をテーマに、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」区審査会が実施され、港南区代表として本校3年生の吉林 優奈さんが横浜市本選に出場しました。また、横浜市長より令和4年度よこはま国際平和プログラム子ども実行委員として委嘱されました。



Peace will come

3年 吉林 優奈

「どうしたらいいのだろう。」「何ができるだろう。」いくら考えても、なかなか答えが見つからない。頭の中は悲しい想いでいっぱいになる。

ロシアがウクライナを侵攻。住宅地を爆撃。テレビに映し出されるウクライナの人々の地下での生活。薄暗い中、子どもたちが絵を描いている。お年寄りの悲しい怒った瞳が何かを一生懸命カメラに向かって訴えている。私が現実を映像として初めて見た日の光景です。

小学生のころ、私の祖母が戦争の話をしてくれたことがあります。その時の祖母はまだとても小さく、「爆弾が落ちてくるから逃げなさい。」という空襲警報が鳴り出すと小さな祖母の仕事は、自分の防空頭巾を頭にかぶること。戦後、アメリカ兵が祖母にチョコやガムを渡そうとするけれど、祖母はとても怖くて、受け取れず走って逃げて帰ったそうです。

祖母の話は、遠い昔のできごとで、私にはまるで子守唄のような、やさしいアニメ映画を見ているように思えました。

でも、今は違います。目の前のテレビに映る映像はリアルです。建物が次々に壊されていきます。大きな音。茶色と灰色の世界。とても、とても現実とは思えない恐ろしい光景が、次々と広がっていくばかりです。

何かできることはないのだろうか？そう考えていると、ネットニュースで千羽鶴論争という記事を見つけました。日本から祈りをこめて千羽鶴を折り、ウクライナに送ったそうです。それを聞いた別の人が、今のウクライナの人にとって千羽鶴は迷惑だ、食料や水、毛布などを送るべきだ、と反論したというものです。何？緊張感のないその論争。今、その論争は必要なの？しかし、次の瞬間、私は悟りました。「いや違う！考えている。みんないろいろな立場で考えているのだ。この見たこともない今に、目を見開いているのだ。そして、自分にできることを真剣に考えているのだ。論争自体、悪いことではないのだ。」と。

一番悪いのは無関心でいること。自分には関係ないと現実を受け止めようとしないこと。私にはこの悲惨な出来事を止めることはできません。しかし、私はこの現実を逃げることなく受け止めたいのです。そこで現実になにが起こっているのかを知りたいのです。そして、自分にできる活動を見つけて、小さな一歩を踏み出していきたい、そう強く思っています。

9月 予定表

1	木	○	軽	○	⑥教育相談 部活動15:00~17:00			9月は活動終了17:30 完全下校17:45です。
2	金	○	○	○				
3	土							
4	日							試験3日前
5	月	○	軽	×				試験2日前
6	火	○	軽	×	教室環境整備			試験1日前
7	水	—	×	×	定期試験 ①国語 ②英語 ③音楽			
8	木	—	×	×	定期試験 ①数学 ②理科 ③美術	①数学 ②理科		
9	金	—	軽	再	定期試験 ①社会 ②保体 ③技・家	①社会 ②保体		部活再登校 14:30
10	土							
11	日							
12	月	○	軽	×	③④総合的な学習の時間			
13	火	○	軽	×		⑤⑥総合的な学習の時間		
14	水	○	軽	○	専門委員会 芸術祭実行委員会			
15	木	○	軽	×				
16	金	○	○	○	評議会			
17	土							
18	日							
19	月							
20	火	○	軽	×				
21	水	○	○	○				
22	木	○	○	○				
23	金							
24	土							
25	日							
26	月	○	軽	×				
27	火	○	○	○				
28	水	○	○	○				
29	木	○	○	○				
30	金	英検	×	再	③終了後下校 弁当なし		PM英検 弁当あり	部活再登校15:15
放課後2時間の時刻と、活動終了時刻の早いほうが、活動終了時刻になります。								

【留守番電話対応について(再掲)】

本校では、これまで平日については19時以降に留守番電話対応をさせていただいておりました。教職員の働き方改革の観点から、9月より試行的に平日の朝8時以前と18時30分以降を留守番電話対応とさせていただきます。なお、これまで通り、土・日・祝日、学校閉庁日も留守番電話対応とさせていただきます。その他で職員不在時も留守番電話対応になることもあります。ご理解、ご協力のほどよろしく願います。